

# 金沢衛生管理者研究会 Q&A

---

## ●職場の健康安全対策全般について

### Q. 産業医と衛生管理者の効果的な連携について

(お答えいただいた事業所の業種→電器器具製造業で小規模)

A.

産業保健活動は多様な専門職の共同活動であり連携は大切である。

しかし、会員のほとんどは、産業医・保健師は非常勤であり、衛生管理者のみが常勤者であり、重要性は高い。常勤者として年間の産業保健計画を立案し、週1回の職場巡視を始め、現場との接触も多く、具体的な監視や改善策を実施する立場にある。

この為、産業医職務でも重要と位置付けられている

- ① 衛生委員会への出席では事前に具体的な課題の報告と必要な助言を引き出せる様にする。また、前回の委員会での課題を産業医の立場より報告頂くよう打診しておく。
- ② 健康診断後の事後措置としての意見については、健診での対象者を脳・心臓疾患などのハイリスク者に絞り込むなどにより関連する健康情報の提供の必要数を適正化しておく。
- ③ 長時間労働者の面接指導者もメンタル不調が原因となる休職や過労死に繋がる者を優先するなど限られた時間を効果的に活用できるよう話し合っておく。